

指定管理者制度管理運営評価シート

施設名称	神林いこいの家	評価対象年度	令和元年度
指定管理者名	村上市レクリエーション協会	所管課	介護高齢課
指定期間	平成27年4月1日～令和2年3月31日(5年間)	評価者(課長)	小田 正浩

①事業実績

利用実績	延べ利用人数 1,951人
サービス向上の取り組み	利用者とのコミュニケーションを図り、要望を取り入れながら活動を計画する。

②管理経費

(単位:千円)

区分	前々年度 (H29年度)	前年度 (H30年度)	当該年度 (R元年度)	合計	備考	
収入	指定管理料	3,998	3,998	3,871	11,867	基本協定額:19,667,078円
	利用料金					
	自主事業収入					
	その他					
	計	3,998	3,998	3,871	11,867	
支出	管理経費	3,979	4,063	3,963	12,005	
	(うち人件費)	2,023	2,116	2,039	6,178	
	(うち光熱水費)	432	430	399	1,261	
	(うち修繕費)	100	81	73	254	
	(うち委託料)					
	自主事業費					
計	3,979	4,063	3,963	12,005		
差引	19	▲ 65	▲ 92	▲ 138		

③評価

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
管理運営基本方針	基本方針の理解・周知	公の施設としての性格や管理運営の基本方針を理解し、利用者やスタッフへ周知しているか	10	4	8.0
		利用者の立場に立ち、公の施設として市民の平等な利用を確保する運営を行っているか			
(評価理由)					
職員に行動目標を設定させ、評価を行っている。また、利用者の声を聞き、運営に反させるなど利用者の立場に立った運営を行っている。					
サービス向上及び業務改善	適切なサービスの提供	提供すべきサービスが仕様書や事業計画に基づいて適切に提供されたか	10	4	8.0
		サービス向上、利用促進への具体的な取り組みがされているか			
		利用者への情報提供を適時かつ十分に行っているか			
	業務改善によるサービス向上	事業計画とサービス提供に差異が生じている場合、原因究明に必要な取り組みがなされているか	10	4	8.0
		業務改善が必要な場合、現状分析、課題把握、改善策の検討と実施が行われ、効果が表れているか			
利用者の意見・要望への対応	利用者アンケート等を適切に実施・分析し、利用者ニーズの把握に努め、満足度向上のための具体的な取り組みに反映させているか	8	4	6.4	
	利用者からの苦情や意見に対して、迅速かつ適切に対応しているか				
自主事業の実施状況	利用者へサービス向上につながる自主事業を実施しているか	4	2	1.6	
	利用者のニーズを踏まえた自主事業を実施しているか				
(評価理由)					
利用者とのコミュニケーションをとり、要望等に対応しながら、サービス向上に努めている。施設の利用状況としては、生きがい活動支援通所サービス(市委託事業)の利用者が多く、その他の利用は2~3団体程度である。施設利用のPRや自主事業について具体的な取り組みを検討し、利用促進につなげることが必要である。					
収支計画・実績	効果的・効率的な支出	計画に基づく適正な支出が行われているか	10	4	8.0
		支出に見合う効果は得られているか			
		経費削減の具体的な取り組みはされているか			
	適切な会計管理・手続き	収入金を区分し、適切に管理を行っているか	8	4	6.4
指定管理業務に関して口座を分け、適正な会計処理がなされているか					
(評価理由)					
送迎者の効率的な運行や冷暖房の適正な温度管理により、経費の節減に努めている。					

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
組織管理体制	適切な人員配置	必要な人員(人数・有資格者等)が必要な場所に適切に配置されているか	4	4	3.2
	連絡・連携体制	定期または随時の会議等によって所管課との連絡・連携が十分に図られているか	4	4	3.2
	再委託管理	再委託先との連携調整が適宜・適切に行われ、業務の履行についても適切な監視・確認がなされているか	4	4	3.2
	担当者のスキルアップ	業務知識や安全管理、コンプライアンスに関する研修が定期的に行われ、スタッフのスキルとして浸透しているか	4	4	3.2
	安心・安全への取り組み	事件・事故、犯罪、災害から利用者を守ることができる適切な安全管理体制となっているか(人員配置、マニュアル、訓練等)	4	4	3.2
	コンプライアンス	個人情報保護、その他の法令順守のルール(規則・マニュアル等)と管理・監督体制が整備され、適切な運用がなされているか	4	4	3.2
	(評価理由) 火災訓練や救急法講習を実施し職員の意識や知識の向上に努めている。また、運転手に安全運転の注意喚起を行っている。				
適正な業務実施	施設・設備の保守管理	安全な利用に支障をきたすことのないよう、施設・設備の保守点検や整備等を適切に実施しているか	8	4	6.4
	警備業務	施設内及び敷地内の警備が適切に行われ、事件・事故、犯罪等の未然防止に役立っているか	4	4	3.2
	備品管理	設備・備品の整備や整頓、利用者使用する消耗品等の補充が適切に行われているか	4	4	3.2
	(評価理由) 定期的に除草や庭木剪定を行うなど環境整備を実施している。利用者からの要望をききながら消耗品や備品等を整え、適切に対応している。				

④総合評価

評価点合計	78.4	評価ランク	B
-------	------	-------	---

⑤管理運営に対する全体的な評価

火災訓練や救急法講習を実施し、職員の知識の向上に努めている。
利用者の要望に対応し、適切な施設の運営管理に努めている。

⑥次年度の管理運営に対する指導事項等

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、3密の回避、利用者への感染防止対策の周知を徹底し、より安全な施設の運営に努めていただきたい。

記入要領

- ・「評価段階」は5段階(5～1)により評価を行うこと。
- ・「評価点」は、配点に以下の評価段階による係数を乗じて算出すること。

評価段階	評価点係数	評価基準
5	1.0	特に優れた取り組み、対応が行われている。特に成果が現れている。仕様書等より特に優れた提案がなされ実施している。
4	0.8	優れた取り組み、対応が行われている。成果が現れている。仕様書等より優れた提案がなされ実施している。
3	0.6	適切な取り組み、対応が行われている。適切に仕様書等のとおり実施している。
2	0.4	一部改善が必要な取り組み、対応がある。仕様書等に規定されている項目を一部行っていない。
1	0.2	全面的な改善が必要な取り組み、対応がある。全面的に仕様書等に規定されている事業を行っていない。

- ・「評価ランク」については、評価点合計により以下のとおりとする。

評価ランク	区分	評価基準
S	95.0以上	管理施設運営状況が、特に優れている。
A	80.0以上95.0未満	管理施設運営状況が優れている。
B	60.0以上80.0未満	適正な管理施設運営状況である。
C	60.0未満	管理運営状況に改善の必要性がある。